

# MUGA TIMES

No.30  
【発行人・編集人】大久保むが



北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート

理想から  
現実へ

現在進行形「身の丈の政治」

- P.2 2期目に無我夢中で取り組んだこと
- P.2-3 交差点から北九州を変えよう!!
- P.3 さあ、**子育て支援**を前進させよう!!
- P.3 政務活動費は**全面公開**するべきだ!!

P.4 参議院議員  
古賀ゆきひと氏と北九州に

OKUBO  
Muga

ズーム!!  
対談企画



# 2期目に 無我夢中で取り組んだこと

## 障がい者ワークステーション北九州が事業開始!

平成26年視察に訪れた「三越伊勢丹ソレイユ」が行っている“業務切り出し”という手法で障がい者に仕事を作り出す仕組みを用いた特例子会社について議会で紹介しました。平成27年7月に障害者ワークステーション北九州が事業開始。最大5名が3年間、このワークステーションで市役所から切り出された業務をこなし、企業への就職を目指しています。この取り組みが一般の企業へと広がれば障がい者雇用へ大きな道が切り開かれることに繋がり、大変期待されています。



## 若者を引きこもりにさせないための取り組みについて

若者を引きこもりにさせないために、佐賀県や高知県ではアウトリーチという手法で機関の壁を越えての情報交換や、若者に直接接し、再び社会参加へと導く活動を行っています。このように社会で支えられる側になる若者たちを社会の担い手へと変え、本来あるべき姿にしていく手伝いをするべきだと訴え、市側もこのアウトリーチについて本格的に検討に入りました。課題は行政間での情報の共有にあります。国と県と市が情報の帯に隙間を作らないように連携することは他県では可能になっています。手遅れになる前に制度を作り、若者に再び社会参加の機会をつくらなければなりません。



※アウトリーチ：援助が必要であるのに、自ら申し出ない人に対し行政が積極的に働きかけ支援の実現を目指す。

## 投票率向上対策について

投票率向上の対策として、ショッピングセンターや駅前など、人が多く集まる場所に投票所を設けるべきだと訴えました。これに力を入れている千葉市では、期日前投票者数が3〜5倍に増え、一定の効果があることが示されています。本市では大学などへ投票所を設置することが行われましたが、対象が有権者のごく一部である学生で、しかも学校がある選挙区の学生しか投票することができず、さらに学生のどのくらいが住民票を本市に移しているか定かでないという中で行われたことを残念に思います。これから多くの人が集まる場所に投票所が設置されるのは当たり前時代になると考えられます。やはり、他都市でも効果が上がっている大型ショッピングモールや、駅前での投票所設置を改めて行うべきであると訴えて参ります。

## 子どもの居場所づくりについて

本市が行っている子どもの居場所づくり事業に意見を行いました。NPOや地域が行っている子ども食堂が既に各地で始まっているにも関わらず、行政が子どもの居場所づくりを行い、1か所に250万円もの税金が投入されることについて、本当に行政が行うべき取り組みは別のところにあるのでは、と訴えました。(市政レポート第28号に詳細)



## 交差点の安全性の向上について

交差点から北九州を変えよう。これまでなかった視点を取り入れ、事故を未然に防ぐ交差点の改良を議会に訴えました。交差点では場所によってさまざま課題があり、多くの改善点があります。本市の交通事故の約56%が交差点にかかわる事故です。ひとつずつ、利用者の意見を聞きながら、事故が起こる前に歩行者やドライバーの安全を守る活動をしていきます。



## 安全・安心なまちづくりについて

犯罪が多いとされている本市の現状について、データに基づいた正しい切り口で実は犯罪が多くはないことを指摘。イメージではなく、本市では犯罪は決して多くはないことを数字を提示してしっかりと市民に示すべきであると訴えました。

### その他取り組んだこと

- 離島への漂着ごみについて
- 社会参加が困難な若者への支援について
- 本市の建築物の老朽化について
- 国際的なカーレースの誘致について
- 折尾地区区画整理事業について
- 耐久性に優れたコンクリート舗装の導入について

## 路面舗装をコンクリートに変えてみるの巻

北九州市の道路の99%がアスファルト。しかし、他市の例では路面をコンクリートに変えることで50年以上も大丈夫です。将来的な負担軽減のため、コンクリートにしてみようという動きが出ています。路面への推進を訴えていきます!

非常に劣化が早いので、何度も工事をしなければなりません。

しかし、他市の例では路面をコンクリートに変えることで50年以上も大丈夫です。将来的な負担軽減のため、コンクリートにしてみようという動きが出ています。

コンクリート路面への推進を訴えていきます!

# さあ、子育て支援を前進させよう!!

子どもは私たちの、地域の、国の宝です。育児を担う親御さんたちに経済的、時間的に厳しい状況ではいけない。子育て支援の拡充は喫緊の課題です。インフルエンザ予防接種への支援など、市では出来ないのであれば国に再考を求める働きかけを行います!

## ▶子ども食堂だけが答えではない。

本当に必要な「子どもの居場所」づくりのあり方について引き続き研究し、議論を行っていきます!

## ▶待機児童を減らしたい!

保育園への入所枠の拡大と保育士の処遇改善を求めていきます!

## ▶もう一度社会へ!

アウトリーチで社会参加が困難な若者たちへ手を差し伸べる事業をスタートさせるよう取り組みます!

※アウトリーチ：援助が必要であるのに、自ら申し出ない人に対し行政が積極的に働きかけ支援の実現を目指す。

## ▶インフルエンザ予防接種の再開を!

一回の接種に多額の費用がかかるインフルエンザの予防接種を、全国の事例を研究し本市で再開できないか、市や国に対して要望していきます。

## ▶エアコン設置を特別教室まで広げよう!

現在、小中学校では普通教室へ設置が進んでいますが、特別教室への設置については議論が始まっていません。早急に議論を開始し、設置に向けて議会に訴えます!

## ▶小学校へウォシュレットを付けよう!

子どもの成長・体の発達につれて設置が必要だと考えます!



# 羊 政務活動費は全面公開すべきだ!!

富山市議会での政務活動費の不正取得で、全国都道府県や市町村議会の議員の政務活動費の在り方が問われています。そもそも領収証を偽造したり、白紙の領収証をもらい自分で金額を記入するなどの行為は政務活動費の原資が税金であるからという以前に詐欺であり、議会のみならず社会的にも当然許されない行為です。

## 北九州市議会は大丈夫なのか?

北九州市議会の政務活動費は、議会が裁判での判例や社会的規範に基づき作成したマニュアルで、使途が厳しく定められています。また収支報告を会派で精査した後、議事事務局がさらに厳しく精査を行います。こうしたチェックを経て北九州市議会議員の政務活動費は提出されています。

## それで完ぺきとは言えない!

政務活動費の使途について厳しいチェック体制があるのは先述しましたが、富山市議会で起こったような不正を完全に防ぐことができるのかと言われれば、必ずしもそうとは言えず、悪意をもって不正を行おうとすれば同じようなことが起こらないとも言えません。これまでの政務活動費の使い方について私たちは議会の中で様々な議論を続けてきましたが、今回の富山市議会での一件を受け、提出されている領収証そのものから抜本的に対策を考え直さなければならないと思います。

## 全てのデータの公開を!

私は、政務活動費の問題が、全国的な議会全体への信頼失墜に繋がっていることを重く受け止め、徹底した情報公開を行うべきだと会派で進言しました。政務活動費は基本的に情報公開請求をすれば個人情報にかかわる部分以外を見ることが出来ます。しかし、ほとんどの人はこうした制度の存在や平日の昼間にこのような情報をわざわざ請求しに行く事はできず、実際には一部の団体やマスコミなどが請求を行っているのが実情です。インターネット上に公開することを進言していますが、基本的に市民にのみ公開するという前提の今の政務活動費の条例を、ネットに公開して全国どこからでも閲覧可能なものに改正しなければなりません。市議会各会派と政務活動費のデータを全面的にネット上に公開することを議会内で提案し、実現へ向けて働きかけて参ります!

# 交差点から北九州を変えよう!!

## 56%が交差点に関わる事故

最近、地域の交差点に注目しています。というのは、北九州市の交通事故は年々減少傾向にあるのですが、調べてみると交差点での事故は事故が若干増加していたからです。平成27年の統計では、本市の交通事故件数は8,075件だったのですが、横断歩道付近がプラス8件、左折時プラス8件の242件、右折時プラス16件の637件と、市内の交差点付近の事故件数が増加しているのです。本年7月時点の対前年比では全体的にかなり減少しているようですが、本市の交通事故の56%が交差点及びその付近で発生しているという事が分かってきました。私のところにも交差点の改良や安全性の向上を求める相談が相次いでいたこともあり、こうした問題に着目し、取り組みを始めました。グリーンベルトや路面標記の明確化はもちろんのこと、交差点での右左折時や、歩車分離にすることでかなり改善されてくる事が分かりました。

## 時間と費用が節約できる右折ポケット

愛知県では1.5車幅右折ポケットという事業を行っています。本来であれば右折レーンは交差点付近の用地買収を行い、車線を増やすことで右折レーンを設けるのですが、用地買収にかなりの費用が掛かることから、実際に事業を行うと非常に長い時間がかかってしまうことが多々あります。時間と費用をかけずにこれに近い効果をおげるため、中央分離帯を削ったり、歩道が広げれば歩道を若干削ったりして1.5車幅の直進と右折スペースを確保しようというのが1.5車幅右折ポケットです。本市でも広幅員という名称で時々見かけます。ただ本市で広幅員を行うのは事故が発生した場所などに限られているとの事です。事故はどのような状況で発生するのかが分りませんが、交差点での事故は歩行者が巻き込まれる恐れがあると同時に、命に関わる問題です。こうした交差点で事故が起こってからは、歩車分離信号、1.5車幅右折ポケットなど、事故を未然に防ぐ改良を議会に訴えて参ります。

### 1. 国道3号瀬板2丁目15番付近



右折車が多く、後続車の急ハンドルや急ブレーキなどで複数のドライバーから何とかならないか、との指摘。中央分離帯があることから、これを活用して右折ポケットの設置が出来ないか、検討してもらいます。

### 3. 光貞小学校入り口交差点



地元の方や地域の方たちから小学校前の交差点の安全性を高めてほしい、という声があります。これまでの経過を伺い、歩車分離の導入により、子どもたちを安全に学校へ通わせたいと市へ要望を行いました。同時に福岡県警にも同様の要望を行い、検討に入ってもらいました。安全に通学できる環境が整うまで、市へ訴え続けます。

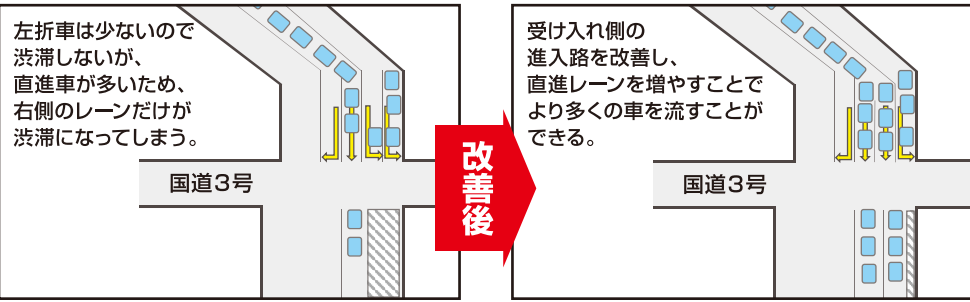
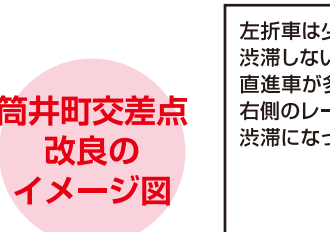
### 2. 永犬丸ダイレックス前の交差点



この交差点は、絶えず歩行者や車が多く、交通量が多い割には信号が設置されていません。現在、市へ信号設置を要望し、警察へも要望を行っています。一刻も早く歩行者が安全に通行できるよう改善を急ぎたいです。

### 4. 筒井町交差点

黒崎跨線橋から国道3号、200号へとつながる筒井町交差点では、交差点の出口が左折2車線、直進1車線、右折1車線となっています。左折する車が少なくて車線が多くあり、ラッシュ時になると直進する車で大渋滞となります。左折レーンの1つを直進レーンに変え、200号側の受け口を2車線に改善することで、現在発生している渋滞の緩和につながると考えます。現状を市へ伝え検討してもらった結果、市と福岡県警とが協議を始め、改善へ向けての動きが始まりました。皇后崎方面からクラウンパレス方面に向かうドライバーにとって良い結果が得るものと思います。



## 交差点から北九州を変えようの巻

横断歩道しかない交差点は、車の通行が多くなかなか渡れない。渡るのが危ない交差点。

また、信号がない交差点。ありません。みなさんの意見をしっかりとあげることができれば、安全を向上させることができます。

人の命、安全を守る。事が第一。万が一事故が起きると大変です。

あなたの近くの交差点から北九州を変えよう!!



# 参議院議員 古賀ゆきひと氏と北九州に



# ズームイン!! 対談企画

(大久保)古賀さんと初めてお会いしたのは参議院選挙のときですね。これまで色々なマスコミの方と会う機会があり、難しい人が多い業界というイメージがありました。古賀さんは大変温和な方だという印象がありました。古賀さんの元職場で一緒に働いていた方の話では仕事にとてもまじめに向き合っているという話を聞きました。逆に私に関してはどういう印象を持たれましたか？

(古賀)まず大変落ち着いた方だと思いましたが、名前を聞いて、昔の俳優さんで竹脇無我さんという方がいらっしやいました。彼様の様なども好青年だという印象を持ちました。

(大久保)ありがとうございます(笑)もうすでに国会も召集され、古賀さんも国会において活躍されていますが、自分が思っていた事と、違っていたという事かありましたか？

(古賀)そうですね、委員会などではじっくりと審議を尽くすものもあれば、早いもので10分、15分で審議が終わってしまうものもありましたね。私は財政金融委員会と決算委員会、ODA、参議院独自の6年間任期があるので調査会というのがありますが、国際経済外交調査会というところに所属しています。官僚の方から説明しても

らったり、こちらからリクエストして必要な情報を頂いたりしております。

(大久保)アナウンサー時代とは、全く違いますね。

(古賀)それがそうでもなく、これまで自身がお伝えしていた内容が、実際にそれが決まる瞬間、そしてその過程を見る事ができます。場合によっては自ら法案を作っていくという能動的な立場になる部分では大きな違いはありますが、重なる部分もあると思います。

(大久保)これからは伝えるだけでなく、意見も言わないといけませんから責任も大きくなりますね。北九州市についてお聞きしたいのですが、国会議員になられた立場から、北九州市はこれからどのような取り組みが重要だと考えますか？

(古賀)北九州市は一番歴史の古い政令市のひとつですから、独自性をより一層高めて頂いて、様々な特区や空港などハードとソフトを活用し磨き上げて、そういったことに対して非常に可能性がある地域だと思っています。是非そういう北九州市の可能性をどんどん広げられるようなお手伝いをさせて頂ければと思っています。

(大久保)可能性を見つけ、磨き上げていかなければなりませんね。

逆に私が国に対して思っているのは、子ども食堂とか、格差や子どもの貧困問題についてです。実は北九州市も子ども食堂をスタートさせたのですが、これを審議する中でいろいろ考えさせられる点がありました。例えばなぜ行政が子ども食堂を？という根源的な話が必要ではないのです。その話は横に置いて、子ども食堂はどうあるべきか、という話になってしまっています。いま国において吹き上がっているのは、こうした貧困問題であり、子ども食堂はこの貧困問題から派生して表面化したものに対応する絆創膏的なものでしかないと思えます。その病巣を正す根本的な話をしてほしい、というのがあります。

また個人的見解ですが、格差や貧困問題の根にあるのは労働者派遣法ではないかと思うのです。働く人たちが、特に若い人たちが本当に豊かになっていく仕掛けを思い切ったやってほしいと思います。非正規雇用で所得が向上しない、結婚しない、できない、結婚して子供が出来ても共働きせざるを得ない、結果子供の数が減っているにも関わらず保育園が足りない、さらに家庭の貧困、愛情の貧困、子どもの貧困へと連鎖しているのではないかと考えるのです。

国の中で強く訴えていただき、図らずして不幸にならざるを得ない人々を少しでも減らして欲しいなと思います。



(古賀)本当にそうですね。子どもさんたちがきちんとご飯が食べられて、勉強ができて、進学できて、就職ができる、そういう環境づくりを国がしっかりとサポートしていかないとダメですね。親の世代としてはいわゆる暮らしの底上げを図れる政策がこれからは必要になってきます。子どもの貧困を考えなければならぬ問題ですね。

それから北九州市は漫画ミュージアムがありますね。私が学生の頃この施設が近くにあれば本当によかったです。今、国立の漫画ミュージアムの構想もありまます。こうしたものと北九州市は連携できると思います。こうしたものが子どもたちに元気を与える、そういうものから働き甲斐のある、育て甲斐のある、そういう街になるように応援していきたいです。

(大久保)最後の質問ですが、私も含めて、ご自身が目指す理想の議員像というのはありますか？

私が理想とするのは土光敏夫さん、めざしの土光さん、のような生き方がいいなと思っています。ちょうど二期目の終わりに自分の目指すべき政治の姿として「身の丈」という言葉が、これはもう降ってきたといってもいいのですが、これだ！「身の丈の政治だ」と思っています。

この身の丈が何かといいますと、無理をしないという事なんです。ちょうど議論になっていたのが北九州スタジアムで、私もその委員会に所属していましたので、様々なスタジアムを視察に行きました。

その中で得た結論として、無理して大きなものを作る必要があるのか？市民が本当に楽しく見る事ができるスタジアム、現状どのくらいのものかこの街にふさわしくて、財政的にも集客的にも必要最低限でいいのでは？と考えました。将来これらの施設を負担していくのはこれから生きる人達です。私たちは今作る側ですが、将来こんなものを作ってしまったら、と言われるようにいいものを残してくれたと言われるようにしなければならぬ、と考えました。

そこで、将来集客力が出てきて「今のままで手狭だね」となった時にはじめて拡張できるような「仕掛け」をしておくのが私たちがその時に拡張が必要かを議論して、拡張するのであれば易いものにしておく。もちろん「身の丈」とは小さくまとまればいいというわけではありません。街や人が多く、大きく強くなるための努力や切磋琢磨は全力で行い続けなければなりません。無理して大きく見せたり、無理して背伸びするという事とはその反動も大きくなり、かえってよくない、違うという事だと考えたいです。

(古賀)身の丈、いい話ですね。私は一言でいうと、理想を求める庶民派ということでしょうか。週末のスーパーのチラシを見てとか、夕方の特売など大好きなんです。物価や生活の違いを感じています。それはスーパーに行くときと見えてくるものがあります。そういう視点を持ち続けながら自分の中の理想を皆さんと一緒に考えていきたいです。

子どもに夢を与える、モノづくりと同時に人づくりがすごく大事なのではないかと思えます。

北九州市は2019年ラグビーのワールドカップのキャノンフィールドでもありますが、八幡製鉄時代にはラグビーが日本一になっています。野球やバレー、マラソンなどで名だたる選手が活躍したところでもありません。世界遺産も誕生しましたし、物のレガシー(遺産)と人のレガシー(遺産)を受けついでいてほしいです。

若い人が次の時代を作っていくこととしたときに、この北九州市はもったいないくらいいいところだと思えます。

(大久保)まさに、いい素材がたくさん揃っている街なので、私たちがいい料理人となってその素材をどんどん活かしていい街にしていかなければいいですね。

(古賀)その通りですね。

(大久保)今日はありがとうございました。



## 大久保むがさんに期待しています!

大久保むがさんとは、行政と議会というそれぞれの立場で、北九州発展のためにオープンな議論を行い、互いに切磋琢磨してまいりました。地方創生の成功モデル都市として北九州市の明るい未来を切り拓くにあたり、優れた見識をもたれ、豊かな経験と実績を備えた大久保むがさんに、ますます力を発揮していただけるものと期待しています。

北九州市長 北橋 健治

## PROFILE

プロフィール

[家族] 妻・長女・次女・長男  
 [趣味] ときどきウォーキング、料理、北九州市  
 [好きな食べ物] カレー(自分で作る歴10年)、ラーメン、卵料理  
 [尊敬する人] 土光敏夫  
 [好きな言葉] 少年老い易く学成り難し 一寸の光影軽んずべからず

昭和63年校光小学校卒業。平成3年校光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。現在は経済港湾委員会に所属。民進党福岡県第9区総支部常任幹事、NPO法人「KID's Work」スタッフ。平成26年2月、防災士資格を取得。スポーツ鬼ごっこ検定3級。日本カップ協会認定普及指導員。

## 大久保むがはこんな人。

**大久保むが事務所** ホームページはコチラ!!

〒807-0831 北九州八幡西区則松2-9-2  
 TEL 093-863-5530 FAX 093-853-5531  
 E-mail yahatanishi@mugamuga.net http://www.mugamuga.net